

令和5年度（2023年度）第1回放課後活動推進協議会（道央会場）

【道央会場】令和5年（2023年）7月4日（火）（オンライン） 参加者：216名

放課後や休日などにおける子どもの活動拠点づくりに関わる方々を対象に、子どもへの活動支援の在り方を含めた専門的な講義や協議を行い、放課後活動を支える人材の資質向上を図ることを目的に、オンライン形式で協議会を実施しました。

1 講義

○「読み聞かせの効果と年齢に合わせた本の選び方について」

講師 絵本専門士 笹山愉香氏（札幌市曙図書館 司書）

絵本の読み聞かせによって得られる効果や子どもへの読書活動支援の在り方について考える大切さについて説明があり、読み手の声質によって「向き、不向きな絵本がある」ことや、事前の練習のタイミングや回数、本の持ち方を意識したりすることが効果的な読み方につながることを教えていただきました。



2 選択演習

A 読み聞かせ活動のポイント 講師 笹山愉香氏（絵本専門士）

B 簡単にできる工作活動 講師 草木和枝氏（道立青少年体験活動支援施設ネイバル砂川指導員）

C コミュニケーショントレーニング入門 講師 是安聡一郎（空知教育局社会教育指導班主査）

D 情報交流（進行）石狩教育局社会教育指導班、後志教育局社会教育指導班

選択演習では、参加者が希望する演習ごとに分かれて、オンラインによる指導などを受けながら、演習に臨みました。

「A 読み聞かせのポイント」の演習では、絵本の読み聞かせと絵本選びのポイントなどについて、笹山氏が絵本専門士ならではの経験や技術を紹介し、参加者それぞれが事前に用意した本を使って、実際に読み聞かせをする側と聞く側に分かれて、講師から習ったポイントを意識した読み聞かせを行いました。

また、「B 簡単にできる工作活動」では、講師の説明や手元の動画を見ながら、牛乳パックを使ったフライングディスクを工作し、「C コミュニケーショントレーニング入門」では、子どもたちが対人関係を深めていくための様々な楽しい遊びを、画面越しに講師の説明や動きをもとに、実際に体験しました。

「D 情報交流」では、放課後活動に携わる中での各施設や団体での取組等について、意見交流を行いました。



参加者の感想

- ・読み聞かせの時の自分の声を意識するという観点は、今後に活かせるものになりました。
- ・忘れていた読み聞かせの基本を思い出すことができました。
- ・工作は、夏休みに子ども主催の夏祭りがあるので、早速活用させていただきます。
- ・コミュニケーション講座が楽しかった。子どもたちを集めた場で実践してみたい。
- ・所在地は違いますが、皆様互いに頑張っていることが感じられ参加して良かった。